



茨城県警察

金属窃盗対策のポイント!

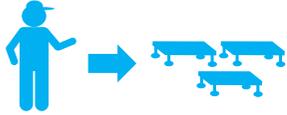
～低圧編～



防犯カメラ

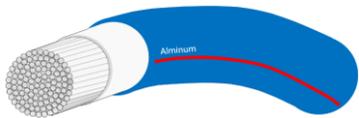
ver 1.1

定期的な見回り



犯人は下見をします。定期的な見回りをして、管理が行き届いていると思わせ、犯行を行わせないようにしましょう。

アルミケーブルの導入

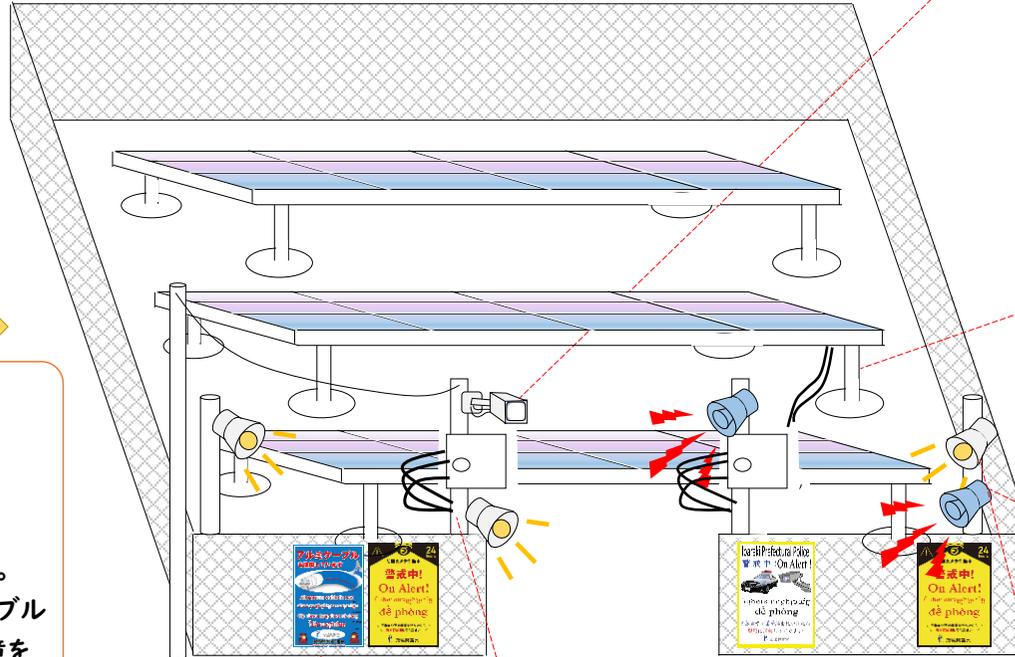


アルミの価格は銅の1/4程度です。盗んでもお金にならないアルミケーブルを導入することで、盗まれにくい環境を作ることができます。

ポスター等の掲示



多言語のポスターを掲示することで、日本語が読めない外国人への注意喚起をすることができます。警察が関わっていると思わせて、犯行を諦めさせましょう。



カメラの存在を知らせることで、犯行を諦めさせるなどの効果が期待できます。**AIが不審者を認識して警報を鳴らすカメラ**もあります。手の届かない目立つ場所に設置すると効果的です。

ケーブル周りの強化



転がし配線は危険です。配管等を地中に埋めたり、コンクリートなどで固めることにより、ケーブル周りを強化。引き抜けない対策をすることで、犯行を防ぎます。

センサー音声&警報器



犯人は、音を嫌います。「警察に通報した」という音声や、警報音を鳴らして、犯行を諦めさせます。

集電箱付近の強化



低圧の太陽光発電施設は、集電箱直下のケーブルが、露出しているものが多く、**最も切られやすい**です。

物理的に切られない対策も有効です。

センサーライト



犯人は、光を嫌います。暗闇で光るセンサーライトは、心理的に犯罪を犯しにくい環境を作ります。

詳細はコチラ
県警ホームページ
【金属盗難に注意】

